

帝塚山派文学学会 創立2周年記念講演会

帝塚山派文学学会は2年前に「帝塚山派文学者」（石濱恒夫、伊東静雄、小野十三郎、阪田寛夫、佐澤波弦、島田陽子、寿岳文章、庄野英二、庄野潤三、杉山平一、長沖一、西垣脩、橋本多佳子、藤澤桓夫）とその作品を研究し、また、再評価するために設立されました。これまで着実な活動を続けてきましたが、設立満2年を迎えて、記念講演会を開催します。当文学学会の会員でない方も自由に参加いただけます。入場無料です。

なお、講師の内藤啓子さん書き下ろしの新刊『枕詞はサッチャン：照れ屋な詩人、父・阪田寛夫』（新潮社）が講演会の直前11月30日に刊行されます。記念講演会当日に会場と同書販売するとともに、講演会終了後、著者によるサイン会を行います。

日 程：12月2日（土）13：30～16：30

会 場：帝塚山学院住吉校舎 AVホール
（南海高野線帝塚山駅下車すぐ）

講演Ⅰ 「庄野潤三、阪田寛夫、富士正晴」

講師：中尾 務（富士正晴記念館スタッフ、本文学学会会員）

講演Ⅱ 「父阪田寛夫を語る」

講師：内藤 啓子（阪田寛夫長女、本文学学会会員）



庄野 潤三

阪田 寛夫

主催／帝塚山派文学学会

共催／学校法人帝塚山学院、すみよし歴史案内人の会